

環境先進都市に向けた政策の推進について（継続）

地球環境への関心が日を追うごとに高まっている中、低炭素社会の実現に向けて温室効果ガスの大幅削減などへの取り組みとして、行政と企業が果たすべき役割と責任は、今日の社会問題として非常に大きなものがあります。

桐生市におきましても群馬大学工学部（現理工学部）の「地域力による脱温暖化と未来の街－桐生の構築」構想が平成20年9月に科学技術振興機構（JST）の事業として採択されたことを契機として、産学官が一体となって脱温暖化対策・エネルギーに関する諸環境施策に取り組んできたところではありますが、平成27年3月には、桐生市の地域特性やまちづくり、環境問題への取り組みなどを踏まえた「環境先進都市」を目指しての30年後の将来像を示した「桐生市環境先進都市将来構想」が策定されました。今後は当構想に基づき環境先進都市に向けた環境整備の具現化を目指していただくと共に、特に以下の案件について強力に推進されますことを要望いたします。

1. 環境先進都市を目指しての地産地消の再生可能エネルギー（潜在水力による B級電力・木材屑等ペレット燃料・里山資源エネルギー等）導入による低炭素型並びに省エネルギー型まちづくりの推進
2. 花と緑があふれたまちなかストリートの整備促進
3. 街並みや景観とマッチしたごみステーションの整備促進

桐生市からの回答

1について

環境先進都市を目指したまちづくりにつきましては、「桐生市環境先進都市将来構想」に基づき、様々な取組を推進しております。中でも、地産地消の再生可能エネルギーの導入は、地域経済への効果が期待されるため、全国の地方自治体でも導入に向けて検討がなされているものと思われますが、その反面、様々な課題の克服が求められ、実現が非常に困難な施策でもあります。

その実現のためにも、地道な取組が求められますが、今後も産学官民が一体となり、相互に連携・協力を図りながら、低炭素型並びに省エネルギー型まちづくりを推進してまいりたいと考えております。

〔回答担当〕 市民生活部環境課都市推進係

2について

街路などの緑化につきましては、「桐生市緑の基本計画」において可能な限り大気の浄化や災害時の延焼遮断効果などに配慮した街路樹を整備するなどとして、これまで新川緑道や新川公園を中心とした水と緑のネットワーク形成を進めてまいりました。今後も、既存

の街路樹や街区公園の適切な管理を行うとともに、うるおいのある緑化空間の創出を図ってまいりたいと考えております。

〔回答担当〕 都市整備部公園緑地課緑化推進係

3について

本市におきましては、市内全域で約3,000か所のごみステーションがありますが、桐生地域では狭隘道路も多く、約半数が道路や歩道上にごみ袋を直接置く方法となっております。また、これらごみステーションの設置から維持管理につきましては、一貫して利用される方々をお願いしているところです。

御要望の街並みや景観とマッチしたごみステーションの整備については、箱型のごみ集積施設の設置などが考えられますが、設置や管理は上記のとおり利用される方が行っており、かつ、ごみステーションの約半数が路上にある現状を踏まえ、設置場所の確保や交通事情など課題が多くあるものと考えております。

この様な状況の中、本市といたしましては、本町通りなど市街地においては、なるべく早い時間帯でのごみ収集を行っているところです。

今後につきまして、利用される方からごみステーションの設置に関する相談を受けた場合には、街並みや景観に配慮していただくよう、お願いしてまいりたいと考えております。

〔回答担当〕 市民生活部清掃センター清掃係